

“日清食品カップ” 三重県小学生陸上競技交流大会新型コロナウイルス感染症対策について

本大会は、(公財)日本陸上競技連盟の定める【陸上競技活動再開のガイダンス ③競技会開催について】および 三重県の定める【県主催のイベントの開催基準】、本協会の定めるガイドラインに従い、大会運営を行う。

① 大会運営全般について

○3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を可能な限り排除する。

○受付時に出場選手の体調チェック表を提出すること。提出なき場合は出場を認めない。

○自身の競技時間に合わせて来場し、競技終了後は、速やかに帰宅すること。

○無観客試合とするが、保護者(選手1名につき2名まで)は、来場可能とする。観戦の際は、座席の間隔を空けて距離を十分に保つこと。また、各チームは来場する保護者を事前に把握し、当日の体調等を確認し、受付時に選手の体調一覧表に保護者の体調も続けて記入し、提出すること。

○補助競技場への入場は、選手及び指導者(IDで管理)に限る。

○大会役員・競技役員ともに、当日審判受付にて体調チェック表を提出する。

○選手・役員全ての関係者において、発熱症状や体調不良等が認められる場合は入場を認めない。

○全ての大会関係者は、原則マスク着用とする。ただし、競技中(ウォーミングアップ等を含む)の選手や熱中症の健康被害が発生すると判断した場合は着用しなくてもよい。なおマスクを着用しない場合はソーシャルディスタンスを十分に保ち、咳エチケット等十分に配慮すること。また、手指消毒、手洗いをこまめに行うこと。

○役員室・審判控室等の諸室は、熱中症対策として空調を効かせながらも換気を十分に行う。

○看護師を常駐させる。

○発熱者専用の個室を準備し、通常の医務室利用者と熱中症ではないと判断された発熱者を隔離する。

○選手待機場所や昼食場所等は十分な広さを確保するが、ソーシャルディスタンスを保ち、向かい合っでの飲食や大声での会話は控える。

○選手を含む大会関係者に対して、大型スクリーンやLED表示板、放送等を活用し、感染症対策の注意喚起を適宜行う。

○受付には透明パネル(フィルム)を設置し、飛沫感染対策を施す。

○使用済みのマスクやティッシュ等は必ず持ち帰ること。会場にはゴミ箱等の設置はしない。

② 競技運営について

○招集所では密を避けるため、トラック種目については、4組程度を原則に時間を区切って招集を行う。

○大声を出しての応援は禁止する。また、フィールド選手への声かけ(返事等)は禁止する。

○ゴール後スタート位置に戻るときは競技場内芝生上を通行してもよい。天候等によってはダッグアウトを通行してもよいが、密にならないように注意すること。また、進行中の競技に配慮すること。

○リレーバトン・ジャベリックボール等、複数の選手や役員が触れると考えられる備品に関しては、適宜アルコール消毒を行う。

○競技者が1カ所に集まると想定される競技前の待機中は、ソーシャルディスタンスを確保し、密にならないよう配慮する。また、競技者同士の会話等は控えること。

○記録の発表はアナウンスおよび大型スクリーン、WEBの速報サイトのみとする。原則掲示は行わない。

○各種目3位までの入賞者・チームは、表彰を行う。3位入賞者は競技終了後、すみやかに表彰控え室(競技場正面玄関:エントランス)に集合すること。(友好100mは、表彰および、賞状の対象外とする。)

4位から8位までの入賞者は、エントランスホールまで表彰状を取りに来ること。

以上のように、感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、100%感染を防止するだけのわけではありません。万が一、新型コロナウイルスの感染が確認されたとしても、主催者は責任を追うことができない点をご了承ください。